

平成 29 年度学術講演会

歯科アレルギー治療の最前線

～その診査・診断と保険採用されたメタルフリー修復について～

松村歯科医院院長

東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科アレルギー外来臨床教授

松村 光明 先生

歯科材料アレルギー、その中でも金属アレルギーは特に注意しなければなりません。どんな症状が発現するのか、症例をお見せしながらその診査・診断の詳細をお話します。

また、治療に関して、メタルフリーにするケースが多いのですが、昨年 4 月から、ついに臼歯部でクラウン形態のメタルフリー修復が解禁となりました。今は金属アレルギー患者のみの対応ですが、近いうちに確実に、すべての患者に保険適応する時代がやってきます。保険診療がキンパラ冠からメタルフリー冠へ移行するということになれば、保険治療材料の根底から変わるという大変革となります。それを予測して、一部の材料メーカーは硬質レジンの材料特性の強化、CAD/CAM冠用のブロックの安定供給、さらには新たな材料の開発・応用に、しのぎを削っています。その最新の情報を少しお話ししながら、CAD/CAM冠を含めて、今後、我々歯科医師が避けて通れない保険を中心としたメタルフリー修復と自費のメタルフリー修復の 2 つの流れをご説明します。

さらに、アレルギー患者の治療の問題点は？特に保険で臼歯部を白くしてほしいと迫られたら？そんな患者がご自身の診療所に来院されたら、いったいどういう対応をしたらいいのだろうか？できるだけトラブルは避けたい、何かいい方法はないか？治療がうまくいった例は？トラブルになってしまった例は？などなど、臨床ですぐに役立つ知識を身につけてお帰りください。そして明日からの日常臨床にご活用いただきたいと思います。